

画期的な全原発停止 原発ゼロへ世論をさらに大きく



国会に出向き、笠井亮衆議院議員（左）、田村智子参議院議員（左から2人目）に新宿・港・新宿区の署名を託しました。衆院比例東京ブロックの宮本徹（右から4人目）、東京から参議院めざす吉良よし子（右から2人目）の各氏と（4月11日）

これは「電力不足を回避するための政策」として、第1次提言で、第2次提言に「エネルギー政策に関する」



日本共産党を支持する「東京宗教人の会」のみなさん、大山とも子都議（右から2人目）と（4月12日・新宿駅東口）

5月5日、日本のすべての原子力発電所の稼働が止まりました。少なくともいまのところ、無茶な停電なしに日常生活が営まれることが日々実証されています。ここまで再稼働を食い止めてきた日本の世論の新しい力がここまでできたと思います。「1つも動かさないといいのは現実的じゃないよ」という気がしてたけど、できるんだね」という方もいました。

しかし、東京電力の新たな事業計画では、来年から、柏崎刈羽原発を皮切りに、原発を再稼働させると述べています。個人向けの電気料金は一律に値上げを押し付けようとしています。その計画を政府はあっさり認めました。

「原発が基幹電源」と言い出したのは誰？

「脱・原発依存」といっていた枝野経済産業大臣は、最近「原発は基幹電源」説を唱え、関西電力大飯原発の再稼働でも懸命に「説得」する役割を担っています。

「『原発は基幹電源』」と言い続けてきたのが日本経団連です。

上で、原子力は「基幹的な役割を担ってきた。政府は、原子力が今後とも一定の役割を果せるよう、国民の信頼回復に全力を」と露骨に求めています。

原発再稼働も、国民の多くが反対する消費増税法案を強行しようとするのも、政治献金で飼われるのも、財界に忠誠を誓う政党の本能とも言わなければならない。国民の手で退場させようではありませんか。

富田なおき事務所の法律相談日

6月15日(金)、7月20日(金)

原則として毎月第3金曜日に開催、弁護士が相談に応じます。事前にお電話でご予約ください。



TEL 03-3357-3392

午後6時30分から当事務所（都営新宿線曙橋駅から徒歩3分）にて

日本共産党衆議院東京1区（千代田 港 新宿区）

国政対策委員長 若者相談室長



富田なおきの つながる通信

No.31 2012.5.20

発行：富田なおき事務所

〒162-0065 新宿区住吉町11-25

TEL 03-3357-3392

FAX 03-3353-4912

E-mail

tomitanaoki.jimusyo@gmail.com

これは大人変身！

「保育・子育て新システム」

共産党質問への厚
生労働相の答弁）、
保護者と園の直接
契約になること、

待機児解消へ 認可保育園の増設こそ

生鮮食品のお店のご主人から
「親子連れの客には『何小学校?』
『何園?』と声をかけるけど、
最近では『保育園に入れないんで
す』『無認可の園に通っている
けど保育料が高くて』と言われ
ることが増えた」と話を伺い
ました。

国会で審議が始まった「税と
社会保障一体改革」法案の中に
「保育・子育て新システム」3
法案があります。肝心の待機児
解消の保障はありません。
はっきりしているのは、区
市町村が保育を「実施」する
義務を取り払い（待機児の数を
把握する義務すらなくします・

株式会社への参入を本格的に認め
ることです。結果、これまで保
育所では認められなかった教材
費や制服などの実費や、それ以
外の「上乗せ費用」の徴収が認
められます。野田首相は「低所
得者には免除」だから問題ない
かのように言いますが、新シス
テムでは、免除すればその分は

施設の持ち出しになり、経
営に響くので敬遠するのが
自然の成り行きです。政府
は「正当な理由がない限り
拒めない」といいますが、
申し込みが定員を上回れば
「正当な理由」になるため、
「園が保護者を選ぶ」事態

になりかねません。
「高い分だけ環境が良い園」
と、「上乗せ料金がない代わり
に環境が劣る園」が出ることは
避けられず、人格形成に重要な
乳幼児の保育に格差がもたらさ
れることは耐えられません。
必要なのは制度いじりではな
く、自公政権が地方まかせにし
て自治体間格差を広げた保育所
建設・運営費を国が負担し、認
可・公立保育園を増やすこと
ではないでしょうか。



「どの子ども豊かに育ちあう新宿の会」が
呼びかけた原発なくすアピールウォーク
に参加（4月1日）



都心の米軍基地、麻布米軍ヘリ基地撤去集会
に参加（4月18日）



J Aグループ、ミュージシャン、他党政
治家など幅広い参加で成功したストップ
TPPキャンドル集会に参加（4月25日）



党千代田地区事務所の地元、神保
町1丁目北部町会の一員として三
崎神社のお祭りに参加（5月4、5、6
日）



戦後間もなく始まったアンデパン
ダン展のポスターを背に。「美術
の自由擁護」「ファシズム反対」
のうたい文句があります。

先日国立新美術館に「アンデパンダン展」
を観にいきました。震災・原発事故を反映
した展示が大変多く、「ゼロロケケレル・ブ
ロジェクト」という、放射能汚染の現実
に向き合う企画の出展者と語り合う機会もあ
り、大変有意義な空間でした。
会場のすぐ側には公称「赤坂プレスセン
ター」とよばれる麻布米軍ヘリ基地があり
ます。敗戦後米軍が接収し、その後全面返
還が決まり、約3分の2は返還されました
が、未だに基地の部分には返還されず、米軍
が使用しています。この基地に来る途中の
ヘリコプターが、杉並区の中学校に不時着
したこともあります。
東京都は1963年、基地の個所も含め
公園をつくることを決めており、本来は基
地全体が青山公園予定地なのです。都も港
区も返還を求めています。国政を変え、
「日米安保条約をなくす」と米政府に通告
すれば、自動的に、1年以内にすべての米
軍基地にお引取り頂くことができます。

雷田なおきの
へのへのもへ路⑬